

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2016 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注)	No. 68	タイトル 健康的な市民生活を送るために健康情報を届けたい	自治体名 掛川市
アイデア名 (公開)	逃走中 i n 掛川		

(注) 地域課題タイトルは、COG2016 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	逃走中 i n 掛川推進連絡協議会		
チーム属性 (公開)	<input checked="" type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
代表者情報	氏名 (公開)	戸塚 宏之	

#### ※ 公開条件について

次ページ以降の「2. アイデアの説明」でご記入いただく内容は、内容を確認した上で、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

#### (注意書き)

##### <応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2016\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2016 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_padit\_cog2016@pp.u-tokyo.ac.jp

##### <公開非公開など>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
4. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。
5. 「アイデアの説明」中に、文章、写真、図画などで応募したチーム以外に知的所有権が属する箇所がある場合には、法令に従った引用や知的所有権者の許諾を得るなどをした旨をそれぞれ注として書いてください。「審査項目自己評価」中も同様でお願いします。

##### <チームメンバー名簿>

6. チームメンバーは別紙のエクセルファイルに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は COG 事務局からは非公開です。詳細は別紙をご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

データや資料を活用して課題の具体化とその解決につながるアイデア（公共サービス）のストーリーを語ってください。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれがする、何を、どこです、いつ、どのようにするものなのかを考えて、各要素を入れて内容を描きストーリーを整理していくとよいでしょう。以下の欄内でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

★ 3～5人組をつくり、ポイントをためて市民総出の鬼ごっこをする。

<鬼ごっこに向けて一定期間体力づくり>

- ・日頃の運動に対してポイントを付与(ウォーキング・自転車や歩きでの通勤通学・子供の外遊びなど)。
- ・公共交通機関を利用した移動にポイント付与。
- ・5人で集めたポイントを平均して分配。

↓

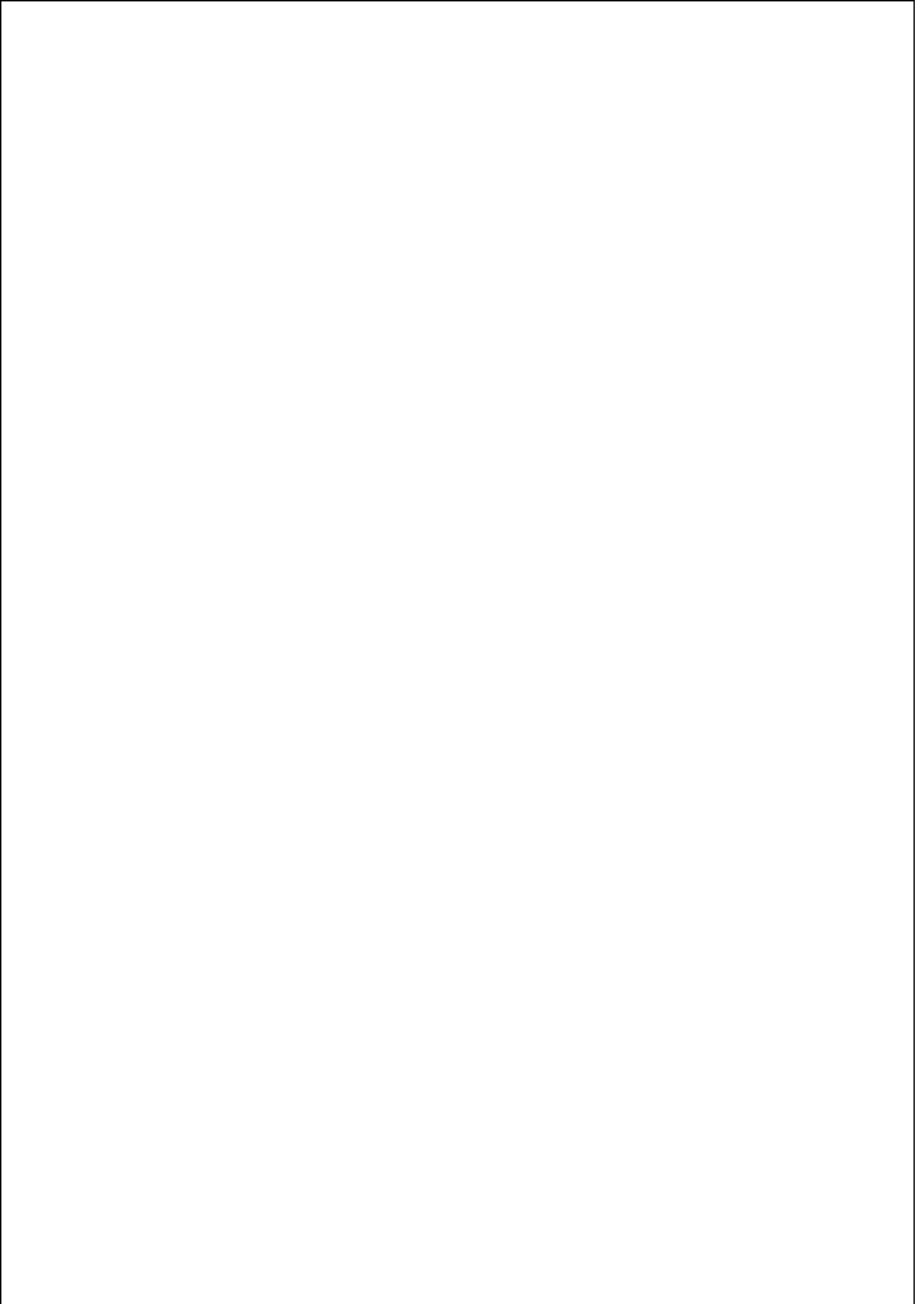
<当日>

- ・会場はつま恋で、子供を含む家族で手をつないで逃げる「親子コース」と、1人で本気を出して逃げる「大人コース」の2種類を用意。
- ・ポイントでリストバンドを購入してもらい、腕に巻く。鬼にタッチされたらリストバンドをとり終了。
- ・会場には体力測定機器を置いたり、体に良い食べ物の屋台を出したり、お祭りのようにする。貯めたポイントで購入や体験可能。
- ・鬼は運動部所属の市内高校生に依頼。
- ・子供や女性にはハンデをつける。
- ・目標 5000人とし、ギネスに挑戦する。

## (2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアにするのか）を、それをサポートする数値データ（実績、統計やアンケートなど数字であらわされるもの）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつご記入ください。数値データや証拠は出所を明らかにしてください。以下の2ページの欄内におさまるようお願いします。

- ① 働き盛り世代(30～40代)の運動不足解消  
→子育てに手一杯で、自分の健康まで気が回らない人が多い。  
掛川市は運動不足の人が多い。  
糖尿病予備群が多い。  
ストレス解消法がある人が少ない。（特定健診受診者の回答結果から）  
子供が出たいと言えば、親もついてくる可能性が高い。
- ② 公共交通機関の利用促進  
→公共交通機関使用者の方が、生涯医療費が低いというデータあり。  
市の財政も潤う。
- ③ 子供の外遊びを増やす  
→ゲームなど室内での遊びが増え、子供の運動量が減少している。
- ④ 誰でも気軽に参加できる  
→マラソンと聞くと参加をあきらめる人も多いが、鬼ごっこなら参加しやすい。
- ⑤ ギネスに挑戦して話題を作り、市の活性化を図る



### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現にいたるプロセスとマイルストーン等、アイデア実現までの大まかな流れについて、以下の欄内におさまるよう、簡潔にご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

#### ★主体

掛川市(スポーツ振興・健康部門・地域支援・教育)

民間(体育協会・企業からの寄付や支援)

学校(鬼ごっこの参加依頼・鬼の依頼)

#### ★流れ

<鬼ごっこに向けて一定期間体カづくり>

- ・日頃の運動に対してポイントを付与(ウォーキング・自転車や歩きでの通勤通学・子供の外遊びなど)。
- ・公共交通機関を利用した移動にポイント付与。
- ・5人で集めたポイントを平均して分配。

↓

<当日>

- ・会場はつま恋で、子供を含む家族で手をつないで逃げる「親子コース」と、1人で本気を出して逃げる「大人コース」の2種類を用意。
- ・ポイントでリストバンドを購入してもらい、腕に巻く。鬼にタッチされたらリストバンドをとり終了。
- ・会場には体力測定機器を置いたり、体に良い食べ物の屋台を出したり、お祭りのようにする。貯めたポイントで購入や体験可能。
- ・鬼は運動部所属の市内高校生に依頼。
- ・子供や女性にはハンデをつける。
- ・ギネスに挑戦。

↓

また来年度の開催に向けて運動をしてポイントを貯める。

#### (4) そのほか（公開）

アイデアのアピールポイントや、アイデア実現に当たっての制約があればそれとその当面の解決方法、さらに将来の発展可能性（例えば「将来的に xx という制約をクリアできれば、追加で○○ということが実現できる」など）について、以下の欄内におさまるよう、簡潔にご記入ください。

#### ★敷居の低さと継続性 + 行政課題の解決

→誰でも気軽に参加できる鬼ごっこ、それに向けて日々運動をする継続性、さらに公共交通機関の利用者が少ないという行政課題の解決にもつながる。